DENSO

報告者津田、山田 CL:町田、SL:山田、亀山 山行報告書 |報告日| 12 / 10 参 加 津田 メンバー 08年12月6日(土)~ 全豊田山岳部員 11 名 山域 木曾 山行日 08年12月7日(日) 御嶽山 山名 計 15 名

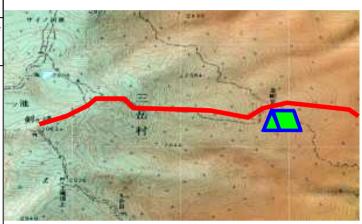
山行目的 雪上訓練

コースタイム (天候:天気図記号)

配布先 集会:12 山行: 1 リ-ゲ -原紙:集会 担当者

ルート図(地図を見て正確に)





12/7(日)快晴+強風

4:00 起床

5:30 山頂アタック

7:00 アイゼン装着

8:00 9合目小屋

8:40 御嶽山頂上

9:30 女人堂着 テント撤収

10:30 閉会の挨拶、下山

11:30 飯森駅登山口着 ロープウェイ乗車

12:30 駐車場発

13:00 木曽温泉

14:00 温泉発

17:30 刈谷着、解散

2.5 万分の1地図: 木曽福島、御嶽山

山行報告 2日目 4:00 起床。準備を終えテントの外に出ると、体感温度で-20 位あると感じられる程寒い。強風が吹きつける中の山頂アタック。場所によっては腰まである新雪の中をラッセルで進む。15人交代のラッセルが1時間半続いた後、雪が締まってきたのでアイゼンを装着する。冬は直登で斜面が急なため、アイゼンを引っ掛けないように慎重に登る。9合目小屋前の急登で再びラッセル。本日 2度目のラッセルの番だが、既に体力を消耗しているため小屋までたどり着けず。亀山さんにバトンタッチ。そのまま小屋までスタスタと登って行ったのを目の当たりにし、実力の差を感じた。まわりが明るくなるにつれて風が治まってきた。小屋で小休止した後、頂上直下の稜線に出る。昨年は強風のためここで断念したが、比較的風が弱く"今年は行ける!"と確信した。頂上の神社が見えてきが、なかなか近づいてこない。最後の力を振り絞って頂上に到着。メンバーと硬い握手を交わし、登頂の喜びを分かち合った。頂上は一面の銀世界で、遠くには真っ白な穂高連峰や乗鞍岳が見え、しばし疲れを忘れることが出来た。下山は同じコースを取り1時間で女人堂に到着。中研の岩堀さんより閉会の挨拶があり雪上訓練が無事終了した。帰りに美味しい信州そばを食し、17時に刈谷に到着した。

最近、年末の雪訓は御嶽がパターン化した。寒さといい、風の強さ、 積雪、アプローチの手軽さ全てがカバーできるゲレンデだ。今年も ラッセル(なんとワカン使用)で入り新雪を踏み分けて女人堂にエス パースを張る。過去に強風でポールを折られた教訓を活かして竹 ペグ・張り綱はキッチリ固める。技術的な訓練はもちろん大事だが、 雪の中での生活体制作りを合宿前に、自分の体に落とし込む所にこの 時期の營訓配意義を感じる。2日目の強風も体感温度も体力の確認も 参加4人がそれぞれ実感できた。天気に恵まれ山頂まで富士山・乗鞍・ 穂高・中央アの白い山々を十分見ながらのアイゼン歩行も最高のゲレ ンデだった。合宿までに体力強化・装備見直し・行動スピード(パッ キング・アイゼン脱着 etc)の見直しと共同装備の再検討(テント仕様・ ガス量 etc)に是非つなげて欲しい。

頂上での集合写真 (Photo by アイシン 米倉さん)



確認 (リ-ダ-) 町 08/12/09 田

作成 (報告者)

08/12/09